

## はじめに

平素より地域の感染症対策にご協力いただきありがとうございます。

医療機関向け情報には **医** を、一般施設向け情報には **全** をつけています。

原則毎月第2・4木曜日に配信し、新たな通知や感染症情報等がある場合、随時臨時号を配信いたします。

全数報告：第34週～第36週（8月19日～9月8日） 定点報告：第32週～第36週（8月5日～9月8日）

## 全数報告疾患情報

医

### 市川保健所管内で報告のあった疾患のみ掲載しています

※定点報告疾患については、第32週～第36週のグラフを別添しております

| 2類感染症 | 34～36週 | 累計（年） |
|-------|--------|-------|
| 結核    | 6      | 83    |

| 3類感染症       | 34～36週 | 累計（年） |
|-------------|--------|-------|
| 腸管出血性大腸菌感染症 | 6      | 21    |
| 細菌性赤痢       | 1      | 1     |

| 4類感染症  | 34～36週 | 累計（年） |
|--------|--------|-------|
| デング熱   | 1      | 1     |
| レジオネラ症 | 3      | 10    |

| 5類感染症                 | 34～36週 | 累計（年） |
|-----------------------|--------|-------|
| カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症    | 4      | 10    |
| 後天性免疫不全症候群(HIV感染症を含む) | 1      | 7     |
| 劇症型溶血性レンサ球菌感染症        | 1      | 9     |

## 発生動向トピックス

医 全

### Topics1 船橋市内でO157による食中毒が発生しました

船橋市保健所は2024年9月6日(水)、船橋市内の飲食店「将泰庵DINER」において腸管出血性大腸菌感染症の食中毒が発生したことを発表しました。

これまでの調査では、8月26日(月)から8月28日(水)に同飲食店を利用しハンバーグ等を喫食した4グループ14人中7人が、8月29日(木)から下痢、腹痛、血便等の食中毒症状を示し、医療機関を受診しています(報道発表時点では5名が入院中)。

ハンバーグは挽肉から作るため、動物の種類に関わらず、挽肉に付着している病原体が中心部まで入ってしまいます。外側が焼けていても中は生焼けになっていることがあるため、ハンバーグやつくね等の挽肉料理は、中心部まで十分に火が通り、肉汁が透明になって中心部の色が変わるまで加熱しましょう。

【参考】船橋市：  
<https://www.city.funabashi.lg.jp/kenkou/eisei/001/p105822.html>

【参考】厚労省：  
<https://www.mhlw.go.jp/content/11130500/000908138.pdf>

船橋市  
報道  
発表

|       |  |
|-------|--|
| 喫食者数  | 調査中                                    |
| 発症者数  | 調査中 現在7人(7～50歳 男性2人女性5人)               |
| 主な症状  | 下痢、腹痛、血便等                              |
| 発症年月日 | 令和6年8月29日(木)から                         |
| 原因施設  | 所在地：千葉県船橋市本町7-1-1<br>屋号：将泰庵DINER(ダイナー) |
| 原因食品  | 当該施設で提供された食事<br>(メニュー名：飲めるハンバーグ御膳等)    |
| 病原物質  | 腸管出血性大腸菌O157(VT1VT2)                   |
| 行政措置  | 営業停止3日間(9月6日～9月8日)                     |

9月24日～30日までの1週間を「結核・呼吸器感染症予防週間」と定め、結核に対する意識の向上及び呼吸器感染症に関する知識の普及啓発を図ることとしています。

## —— 結核

日本国内において令和3年以降「低まん延国」の水準を維持していますが、毎年新たに1万人以上の患者が発生しており、1500人以上が命を落としている感染症です。

結核の症状には特徴的なものがなく、初期には目立たないことが多いため、特に高齢者では気づかぬうちに進行してしまうことがあります。発症しても、早期発見できれば重症化を防げるだけでなく、家族や友人等への感染拡大を防ぐことができます。咳や痰が2週間以上続いたり、微熱や体のだるさが続く場合は、早めに医療機関を受診しましょう。また、症状がない場合でも、1年に1回程度の胸部エックス線検査を受けましょう。結核は「早期発見し服薬を続ける」ことで治る感染症です。

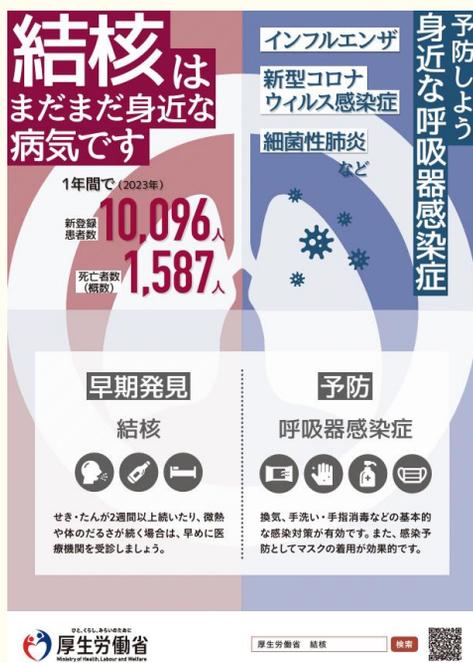
生後5か月～8か月の間に1回のBCGワクチン接種により、小児の結核の発症や重篤な髄膜炎・全身性の結核に罹患するリスクを減らすことが可能です。

## —— 呼吸器感染症

これからの季節(秋・冬)は、例年呼吸器感染症が流行します。例えば、インフルエンザや新型コロナウイルス感染症、細菌性肺炎等が挙げられます。マスク着用を含む咳エチケットや手洗い・手指消毒、換気といった基本的な感染対策を心がけましょう。



▲千葉県作成ポスター



## 結核・呼吸器感染症に関する5つのQ&A

### Q1 結核はどうやってうつるの？

結核は進行する、咳やくしゃみなどによって、空気中に結核菌を含んだ飛沫が飛び散るようになります。その結核菌を吸い込むことにより周りの人に感染が広がります(空気感染)。

結核の症状(咳、たん、微熱、体のだるさなど)には特徴的なものがなく、初期には目立たないことが多いため、特に高齢者では気づかぬうちに進行してしまうことがあります。咳やたんが2週間以上続いたり、微熱や体のだるさが続いたりする場合は、早めに医療機関を受診しましょう。

### Q2 普段から気を付けることは？

定期的に、胸部エックス線検査を含む健康診断を受けることが重要です。結核を発症しても、早期に発見できれば重症化を防げるだけでなく、家族や友人等への感染拡大を防ぐことができます。

### Q3 結核は治療すれば治るの？

結核は通常、薬(複数の抗結核薬等)を医師の指示どおりに飲むことで治療できます。標準的な治療期間は6か月～9か月です。治療途中で薬を飲むのをやめたり、指示どおりに薬を飲まなかったりすると、結核菌が薬に対して抵抗力(耐性)を持ってしまい、薬の効かない「耐性菌(耐性菌)」になってしまう可能性があります。医師の指示を守って、定められた期間きちんと薬を飲み続けることが最も重要です。

### Q4 呼吸器感染症にはどんなものがあるの？

新型コロナウイルス感染症や季節性インフルエンザ、RSウイルス感染症、細菌性肺炎などがあります。呼吸器感染症の多くは、感染した人の咳やくしゃみをするなどで飛んだ病原体を含む飛沫を吸い込むことで感染します。

### Q5 呼吸器感染症はどうやって予防すればいいの？

呼吸器感染症対策の基本は、「手洗い」や「マスクの着用を含む咳エチケット」です。外出先からの帰宅時や調理の前後、食事前など、こまめに手を洗いましょう。また、感染を広げないために、咳やくしゃみをするときはマスク、ティッシュ、ハンカチ、袖などでも口を覆いましょう。

また、新型コロナウイルス感染症、季節性インフルエンザ、肺炎球菌感染症のワクチンについては、症状が重くないや若い高齢の方や一定の基礎疾患(特病)のある方を対象に定期接種を実施しています。定期接種の詳細については、お住まいの市区町村にご確認ください。

▲結核予防週間ポスター・リーフレット

【参考】厚労省：結核 (BCGワクチン)

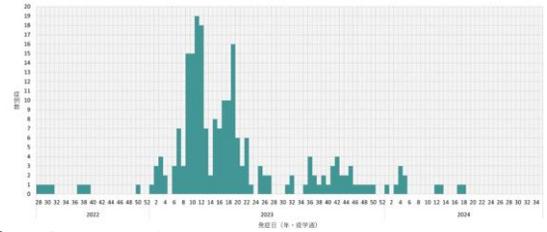
[https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou\\_iryuu/kenkou/kekkaku-kansenshou03/index.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekkaku-kansenshou03/index.html)

【参考】千葉県：結核・呼吸器感染症予防週間

<https://www.pref.chiba.lg.jp/shippeii/kansenshou/kekkaku/tbweek.html#:~:text=%E5%8D%83%E8%91%89%E7%9C%8C%E3%81%AE%E7%B5%90%E6%A0%B8%E3%83%BB%E5%91%BC%E5%90%B8%E5%99%A8>

2024年8月14日に世界保健機関(WHO)の緊急委員会が開催され、コンゴ民主共和国及び周辺国におけるエムポックスの急激な感染拡大について、「国際的に懸念される公衆衛生上の緊急事態(PHEIC)」を宣言しました。

エムポックスは、エムポックスウイルスに感染することによって引き起こされる感染症であり、2022年5月以降に世界的に流行しました(図1)。この世界的な流行では、クレードIIbというタイプのウイルスが主流とされています。現在、スウェーデンやタイでは、クレードIIよりも重症化リスクが高いとされているクレードIによる感染事例(輸入症例)が初めて確認されています。



クレードIは異性間・同性間を問わない性的接触や家庭内感染での感染が報告されています(クレードIIbは、男性同士の性的接触を持つ者(MSM)を中心に流行が持続しています)。流行国への渡航者や現地で医療行為を行う医療従事者、異性間・同性間を問わず性的接触の機会を持つ者は感染リスクが高くなります。これらに該当する場合は、現地での体調不良や皮疹がある者との接触を避け、避けられない場合は直接の皮膚、粘膜の接触を避けることや接触後の手洗い・手指消毒の徹底が推奨されています。



▲エムポックス 診療の手引き第2.0版

ワクチンや治療に関して、国内では「LC16m8ワクチン」や「テコビリマット」を用いた臨床研究が行われています。

感染症解説

エムポックス

|      |  |  |                        |
|------|--|--|------------------------|
| 症状   | 6~13日<br>潜伏期間  | 発症<br>発熱、頭痛、リンパ節腫脹等の前駆症状出現<br>発熱日~4日以内に皮疹が出現 | 皮疹出現から7~14日後<br>皮疹が痂皮化 |
|      | <p>【2022年5月以降の流行での症状】<br/>患者の8割以上に発熱、寒気、リンパ節腫脹、頭痛、筋肉痛等の前駆症状が認められたが、前駆症状を伴わない例が約1割程度報告されている<br/>肛門・直腸、口腔周囲の皮膚病変の割合が増加</p> |  |                        |
| 感染経路 | <p>動物→ヒトへの感染：感染動物(主にげっ歯類)に咬まれること、感染動物の血液・体液・発疹部位との接触により感染<br/>ヒト→ヒトへの感染：患者の飛沫・体液・皮膚病変を介した飛沫感染や接触感染、リネン類を介した感染</p>        |  |                        |
| 感染対策 | <p>発熱・発疹があり感染を疑う場合は、咳エチケットや手指衛生を行う<br/>また、同居者がいる場合は、リネン類は共有しない<br/>流行地では、感受性のある動物や感染者との接触を避ける</p>                        |  |                        |

【参考】厚労省：エムポックスについて

[https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou/kekaku-kansenshou19/monkeypox\\_00001.html#:~:text=%E3%82%A8%E3%83%A0%E3%83%9D%E3%83%83%E3%82%AF%E3%82%B9%E3%81%A8%E3%81%AF%EF%BC%9F](https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou/kekaku-kansenshou19/monkeypox_00001.html#:~:text=%E3%82%A8%E3%83%A0%E3%83%9D%E3%83%83%E3%82%AF%E3%82%B9%E3%81%A8%E3%81%AF%EF%BC%9F)

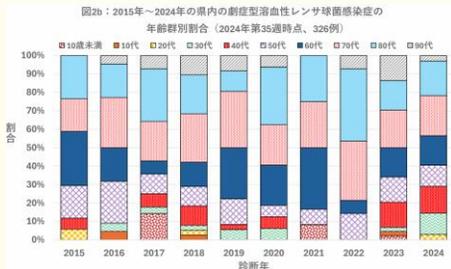
【参考】国立感染症研究所：エムポックスとは

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/kansennohanashi/12052-mpox-intro.html>

【参考】国立感染症研究所：アフリカ大陸におけるクレードIによるエムポックスの流行について(第2報)

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/monkeypox-m/2596-cepr/12834-mpox-ra-0822.html>

—— 劇症型溶血性レンサ球菌感染症(STSS)の届出が増加しています



【参考】厚労省：劇症型溶血性レンサ球菌感染症  
 【参考】感染症対策支援サービス：劇症型溶血性レンサ球菌感染症 (STSS)  
 【参考】千葉県感染症情報センター：週報 (2024年第35週)

劇症型溶血性レンサ球菌感染症(STSS)は、発病から数十時間以内にショック症状や多臓器不全、呼吸状態の悪化、壊死等を伴う致死率の高い感染症です。

千葉県における2024年(第35週時点)の累計届出数は69例となり、直近10年間で最も多い届出数となっています。性別は、男性42例(61%)、女性27例(39%)であり、年代別では70代及び80代以上が各15例(22%)と最も多い状況です。推定された感染原因・感染経路のうち、最も多く記載があったのは「創傷感染(29例)」でした。届出時点における死亡例は22例であり、うち15例が男性、7例が女性、年齢中央値は73歳(範囲29歳～96歳)でした。

当該感染症は5類感染症のうち全数把握疾患に分類されます。診断いただいた際は、診断後7日以内に保健所への届出をお願いいたします。

新型コロナウイルス感染症

医 全

—— 罹患後症状の概要をまとめた動画が作成されました

「新型コロナウイルス感染症 診療の手引き 別冊 罹患後症状のマネジメント 第3版」の内容をまとめた動画が作成されました。罹患後症状の概要やポイントが分かりやすく簡潔に解説されていますので、ぜひご覧下さい。

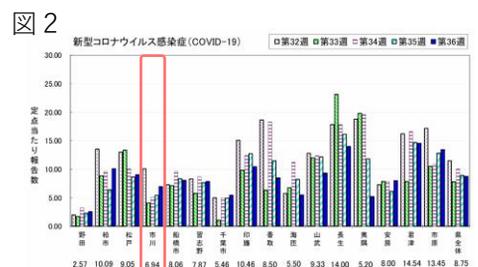
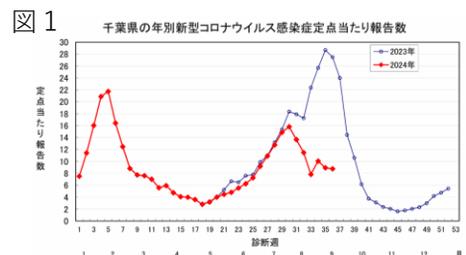
動画URLはこちら → <https://www.youtube.com/watch?v=owYsieRY0TY>

(令和5～6年度厚生労働行政推進事業補助金 新興・再興感染症及び予防接種政策推進研究事業—類感染症等の患者発生時に備えた臨床行政及び行政との連携体制構築のための研究)

—— 定点医療機関による感染者数の報告は減少傾向です

第36週の千葉県全体の定点当たり報告数は、8.75(人)でした(図1)。報告数が多かった地域は、君津14.54(人)、長生14.00(人)、市原13.45(人)でした。

市川保健所管内の報告数は、前週より増加し、6.94(人)となっています(図2)。



感染対策 インフルエンザを予防する方法と同様です

【参考】千葉県感染症情報センター <https://www.pref.chiba.lg.jp/eiken/c-idsc/documents/202436covid19.pdf>

【参考】千葉県:新型コロナウイルス感染症について <https://www.pref.chiba.lg.jp/kenfuku/kansenshou/ncov/covid19-chiba-index.html>

## — 定点医療機関における感染者数の報告は増加傾向です

市川保健所管内インフルエンザ発生状況（人）

|     | A型 | B型 | A+B型 | AorB型※ | 臨床診断 |
|-----|----|----|------|--------|------|
| 報告数 | 4  | 0  | 0    | 0      | 0    |

※型非鑑別キット

（医療機関からの型報告なく不明な6例を除く）

第36週の千葉県全体の定点当たり報告数は、0.33(人)でした(図1)。市川管内の報告数は、0.22(人)でした(図2)。

第36週に千葉県内で報告のあった62例のうち、A型56例(90.3%)、B型2例(3.2%)となっており、A型が多い状況です。

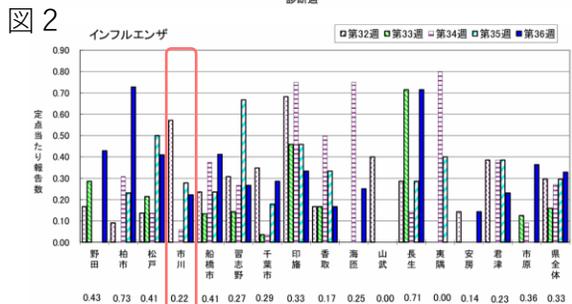
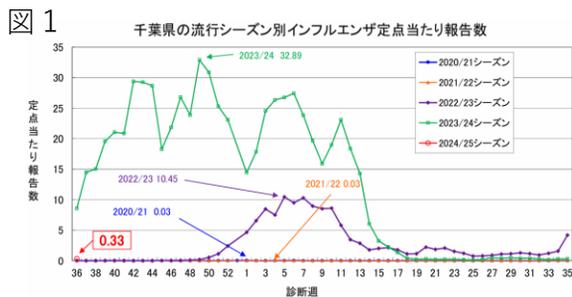
**感染対策**

- ①手洗い・手指衛生
- ②マスクの着用・咳エチケット
- ③室内の換気 ④室内の湿度の保持
- ⑤人込みを避ける ⑥ワクチン接種

【参考】千葉県感染症情報センター  
<https://www.pref.chiba.lg.jp/eiken/c-idsc/documents/202436influenza.pdf>

【参考】厚労省：インフルエンザQ&A  
[https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou\\_iryuu/kenkou/kekkaku-kansenshou/infulenza/QA2023.htm](https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekkaku-kansenshou/infulenza/QA2023.htm)

2024年第34週～第36週における定点各医療機関からのインフルエンザ報告数をまとめた図です



## お知らせ

- ・ **NEW**【医療機関の皆様へ】1~4類感染症及び5類感染症の一部(麻しん・風しん・侵袭性髄膜炎菌感染症)の発生届をご提出いただく際は、発生届のご提出と併せて保健所までお電話をお願いいたします  
 ※閉庁日にお電話いただいた場合、「千葉県保健所夜間休日受付センター」の連絡先のアナウンスが流れますので、当該センターにご連絡をお願いいたします
- ・ 登録アドレスの廃止、変更等は下記アドレスまでご連絡をお願いします
- ・ いちうら感染症情報は、毎月第2・4木曜日を配信予定としていますが、事情により配信が遅れる場合があることをご了承ください
- ・ いちうら感染症情報の内容は主に公的機関の情報を基に作成し、できる限り最新で正確な情報発信に努めておりますが、各登録機関の責任においてご利用ください
- ・ また、メールの安全性についても千葉県の情報セキュリティ対策により安全性の確保を図っておりますが、各登録機関におかれましてもセキュリティ等の注意をお願いいたします

配信元

千葉県市川健康福祉センター  
 (市川保健所)  
 いちうら感染症情報  
 ichiurainf@pref.chiba.lg.jp